



「二地域居住推進キックオフイベント」を開催



これまでの関係人口の創出・拡大に向けた取組（飯田市を知る→参加する→関わる）から、さらに関わりが深化する「共創人口」を目指すため、飯田市、東海旅客鉄道株式会社（以下、「JR 東海」）、株式会社 SUI TEN（以下、「SUI TEN」）、Airbnb Japan 株式会社（以下、「Airbnb Japan」）の4者は、このたび「二地域居住推進コンソーシアム」を設立し、国土交通省「二地域居住先導的プロジェクト実装事業」に応募し採択を受けました。

このたび、本事業を推進するためのキックオフイベントを開催し、地域で活動する団体や、地域と関係人口や移住者をつないでいる方々などに本取組を周知するとともに、共創人口の創出に向けて、地域全体で取り組む気運を高めていきます。

<イベント概要> ※詳細は別紙「二地域居住キックオフイベントについて」参照

- 日時 2026年7月20日(月・祝) 10時00分から12時00分頃
- 会場 HIGASA (長野県飯田市龍江 7456-5)
- 内容
 - 二地域居住推進コンソーシアムの取組紹介(飯田市長から)
 - トークセッション:(仮題)「二地域居住とは? 人口減少社会に対応するための共創の考え方」
 - 共創ワークショップ:(仮題)「飯田市において、外部人材と取り組みたいことや共創したいこと」
 - HIGASA 施設見学
- 参加者 飯田市長、JR 東海、SUI TEN、Airbnb Japan
地域住民、地域内で活動する地域プレイヤー
その他(一般参加等)

添付資料の有無

なし あり(別添のとおり)

飯田市ウェブサイトへの掲載

なし あり

後日掲載(7月8日頃)

発表の趣旨

政策・施策・事業等の発表

イベント等の事前告知

当日の取材依頼 市民・対象者等に対する周知依頼

イベント・事故等の事後告知

その他



リニアがもたらす大交流時代に
「くらし豊かなまち」をデザインする

合言葉はムトス
誰もが主役 飯田未来舞台

IIDA CITY <https://www.city.iida.lg.jp/>

問い合わせ先

市民協働環境部 結いターン移住定住推進課

移住定住推進係 (担当) 小原 和也

TEL: 0265-22-4511(内線 5444)

FAX: 0265-22-4568

mail: yuiturn@city.iida.nagano.jp

二地域居住推進キックオフイベントについて

1 イベント目的

これまでの関係人口の創出・拡大に向けた取組（飯田市を知る→参加する→関わる）から、さらに関わりが深化する「共創人口」を目指すため、国土交通省「二地域居住先導的プロジェクト実装事業」に応募し採択を受けた。

二地域居住者や移住希望者が、地域を創る担い手として参画するためには、この方々を地域の仲間、担い手として受け入れていくことが重要となる。

そのため、本事業を推進するためのキックオフイベントを開催し、**地域で活動する団体や、地域と関係人口や移住者をつないでいる方々などに本取組を周知するとともに、共創人口の創出に向けて、地域全体で取り組む気運を高めていく。**

2 イベント概要

(1) 日時：令和8年7月20日（月・祝） 10時00分～12時00分頃

(2) 場所：HIGASA（飯田市龍江7456-5）

(3) 登壇者：

- ・飯田市長 佐藤健
- ・Airbnb Japan 株式会社 事業開発部長 谷口紀泰
- ・東海旅客鉄道株式会社 事業推進本部係長／conomichi プロデューサー 吉澤克哉
- ・株式会社 SUITEN CEO 平野広樹

(4) 内容

ア 開会

イ 二地域居住推進コンソーシアムの取組紹介（飯田市長から）

ウ トークセッション（4者で実施）：

仮題：「二地域居住とは？ 人口減少社会に対応するための共創の考え方」

エ 共創ワークショップ（参加者と一緒に実施）：

仮題：「飯田市において、外部人材と取り組みたいことや共創したいこと」

オ 閉会・写真撮影

カ HIGASA 施設見学

(5) 参加対象者

- ・地域住民、地域内で活動する個人・団体等
- ・報道関係者

（次ページへ続く）

3 現在の取組

(1) コーディネーター設置：

- ・令和8年5月1日より、二地域居住コーディネーターを設置し、特定居住促進区域内の利用可能な空き家情報の整理、移住や二地域居住希望者の相談対応を実施している。

(2) 住まい確保の取組：

- ・利用可能な空き家情報の整理と、空き家を探している人とのマッチング支援
- ・共創拠点の「HIGASA」に中長期滞在機能（お試し移住住宅）を整備

(3) 仕事（副業）の見える化に向けた取組：

- ・サテライトオフィス（コワーキング施設）等の利用希望者への貸出
- ・地域内の農林業等の仕事やボランティアをリスト化

(4) 地域づくりに関する取組：

地域活動（放置竹林整備等）の情報整理

4 共創人口創出を通して描く将来像

- ・20 地区田舎へ還ろう戦略に基づく各地区の取組と連動し、地域住民や地域の取組に共感する外部人材が、地域活動や農林業等の仕事（副業）を共に行う担い手として活動するための受け皿を増やしていく。
- ・リニア開業を見据え、地元出身者や飯田市に関心ある人が、都市と地域を行き来しながら地域の担い手活動への参画や、新たな地域価値の創出につながる仕組みを目指す。

飯田市、JR 東海(株)、SUI TEN(株)、Airbnb Japan(株)が 「二地域居住推進コンソーシアム」を設立

リニア中央新幹線長野県駅（仮称）の設置を見据え、『共創人口』の創出へ
～国土交通省「二地域居住先導的プロジェクト実装事業」に採択、7月20日に設立記念イベント開催～

飯田市、東海旅客鉄道株式会社（以下、「JR 東海」）、株式会社 SUI TEN（以下、「SUI TEN」）、Airbnb Japan 株式会社（以下、「Airbnb Japan」）の4者は、このたび「二地域居住推進コンソーシアム」を設立いたしました。

本取り組みは、国土交通省の「令和7年度 二地域居住先導的プロジェクト実装事業」に採択された事業です。将来のリニア中央新幹線長野県駅（仮称）の設置によるアクセス向上を見据え、地域の住民・事業者と二地域居住者が共に地域の価値を創り出す「共創人口」を育成・創出するプラットフォームの構築を目指します。

また、本コンソーシアムの設立を記念し、2026年7月20日（月・祝）に地元事業者やメディア関係者、地域住民の皆様を対象としたキックオフイベントを開催いたします。

■ 背景と目的：「通う理由」と「活動する場」をつくり、化学反応を設計する

飯田市は、将来のリニア中央新幹線長野県駅（仮称）の設置により、首都圏や中京圏との飛躍的なアクセス向上が期待される地域です。この好機を捉え、持続可能なまちづくりを推進するためには、地域内のプレイヤーと外部の多様な知見を持つ人材が、継続的に関わり合い、化学反応を起こす仕組みが不可欠です。

本コンソーシアムでは、4者が連携して人が飯田市に「通う理由」と、地域で「共に活動する場」を創出します。都市部の人材と地域住民が共に「地域資源の再読」を行うアプローチにより、二地域居住の先導的なモデルを構築します。

■ 「関係人口」のその先へ。本取り組みが目指す「共創人口」とは

国土交通省の「関係人口の実態把握」（2025年6月27日発表）によれば、全国の関係人口は約2,263万人と推計され、「地域貢献に自らのスキルを活かしたい」と主体的な関与を望む人々が存在する一方で、コロナ禍を経て関係人口の総数自体は約230万人減少しており、外部からの「訪問」や「支援」に頼るだけではない、新たなアプローチが求められています。



共創人口イメージ

本取り組みでは「地域の資源や営みを『自分ごと』として共に育てていく地域内外の人々」として「共創人口」の創出を目指します。外部の人材を単なる「お客様」として迎えるのではなく、地域住民と対等な立場で「地域づくりの担い手」となる、新しい関係性を構築してまいります。

■ 本コンソーシアムにおける各者の役割



コンソーシアムにおける各者の役割

- 飯田市： プロジェクト全体の統括、二地域居住推進の制度構築
- JR 東海： conomichi での発信を通じた、都市部の人材と地域をつなぐ共創体制の構築
- SUITEN： 中長期滞在施設「HIGASA」の整備と現地プログラムのコーディネート
- Airbnb Japan： ホームシェアリングをはじめとする宿泊事業者のネットワーク化

■ 本コンソーシアムによる取り組み

「二地域居住先導的プロジェクト実装事業」として、以下の施策を推進します。

1. 現地でのフィールドリサーチ： 都市部からの参加者と市内からの参加者でチームを組み、天龍峡を中心としたエリアで地域資源のフィールドリサーチを実施します。
2. 地域資源の可視化と資産化： リサーチで収集した情報を、本プロジェクトで連携するクリエイターと共に印刷物などの「PR 資産」へと編集し、地域内外へ発信します。
3. 滞在・居住環境の整備： 地域の空き家だった場所を、滞在拠点「HIGASA」として整備し、地域内外の人々が自然に交流できる環境を整えます。

※実施に関する詳細は今後 conomichi の HP でご案内します。

■ 各代表者コメント

長野県飯田市長 佐藤 健

「人口減少や地域の担い手不足が進み、地域活力の維持・向上が問われる時代において、地域の皆様と地域外の方々が、共に新たな魅力を創り出す『共創』は欠かせない取組です。コンソーシアム設立によって生み出される「場」を通じて、地域の可能性を広げ、新たな活力を生み出していきます。」

東海旅客鉄道株式会社 常務執行役員 事業推進本部副本部長 与謝野 優

「当社が **conomichi** 事業で培ってきたネットワークとノウハウを活かし、地域外の意欲ある人材と地元の皆様が共に汗を流す『共創の土壌』を育てていきます。飯田市の未来を拓くパートナーとして、新たな人流の創出に貢献していきます。」

株式会社 SUITEN CEO 平野 広樹

「外から支援する立場ではなく、自ら現場に入り、地元の事業者と都市部の人材が対等なパートナーとして向き合える場をつくります。目指すのは、心の豊かさや経済合理性が両立した『グッドバイブス』な地域。関係人口創出拠点 **HIGASA** を起点に、『共に考える』だけでなく『共に創り上げる』関係を、地域とともに育てていきます。」

Airbnb Japan 株式会社 事業開発部長 谷口 紀泰

「Airbnb のホームシェアリングネットワークを活かし、訪れる人が地域に根ざすような滞在体験を共に育むことで、関係人口の拡大に貢献していきます。リニア開通という歴史的な転換点に、二地域居住という新しいライフスタイルと地域の持続的な活力をつなげるこの挑戦を、飯田市の魅力的なホストと共に支援してまいります。」

■ キックオフイベント概要

- 日時： 2026年7月20日（月・祝） 10:00～12:00（予定）
- 会場： **HIGASA**（長野県飯田市龍江 7456-5）
- 登壇： 飯田市長、JR 東海・SUITEN・Airbnb Japan 各社担当者
- 内容： 第一部：プロジェクト内容の発表及びトークセッション
第二部：地域住民やプレイヤーを交えた共創ワークショップ
- 参加申込： 下記 URL よりお申し込みください。※参加料は無料です。
<https://higasa2026.peatix.com/>

■ HIGASA について

HIGASA は、「旅から仕事、暮らしまで。」をコンセプトに、観光でふらりと立ち寄った人も、仕事にきた人も、これからこのまちで暮らしたい人も、同じ笠の下で過ごせる交流拠点です。かつて銘菓「檜笠煎餅」の工場跡地を譲り受け、地域の若手や移住者、大工やクリエイターが一緒になって改修を進めています。観光休憩所、コワーキング、サテライトオフィス、お試し移住住宅——旅の延長で仕事が生まれ、滞在の続きに暮らしが芽生える。そんな地域を繋ぐ関係を創出する場所を育てています。



HIGASA 写真

■ conomichi と長野県飯田市での取り組み

「conomichi」は、地域と訪れる人をつなぐ「共創型ローカルメディア」です。JR 東海グループのリソースを活用して地域の様々なプロジェクトをサポートし、その発信を通じて地域と訪れる人による「共創の循環」を生み出しています。飯田市においては、本コンソーシアムの設立に先駆け、都市部からの参加者と地域住民が共に地域資源を再読するフィールドワークを実施してきました。これまでの活動で培われた地域とのネットワークとノウハウを活かし、さらなる共創プロジェクトの実装に繋がっていきます。

▼ 「conomichi」 Web サイト

<https://market.jr-central.co.jp/conomichi/>

【本件に関するお問い合わせ先】

飯田市市民協働環境部結いターン移住定住推進課

TEL：0265-22-4511 MAIL：yuiturn@city.iida.nagano.jp